

奈良県立高田高等学校 中期計画

対象期間	令和4年度～令和6年度
本校の使命（スクール・ミッション）	「自強・和敬・創造」の校訓のもと、生徒各自が進路実現を果たし、地域社会を創生・牽引する人材や、教員として奈良県教育を支える人材の育成を目指します。
教育方針（スクール・ポリシー）	本校が求める生徒像（アドミッション・ポリシー）
	本校が展開する教育活動（カリキュラム・ポリシー）
	本校を卒業するまでに身に付けさせる力（グラデュエーション・ポリシー）

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	生徒の体力向上	新体カテストの総合判定 A 評価が、全体の15%以上。
	授業や体育活動における生徒の主体的な取組（企画・運営等）	授業アンケートで「意欲的に取り組んでいる」(スポーツが好き)と肯定的に回答する生徒85%以上。
	自己肯定感の醸成	「こころと生活等に関するアンケート」の肯定的な回答が80%以上。
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	授業改善による主体的・対話的授業の向上	学校改善アンケートで「学力向上を図るため、適切な授業を行っているか」の質問に対し、肯定的な回答が85%以上。
	学習に対する興味・関心の醸成	高大教育連携大学の講師による出張講義内容に関する生徒アンケートにおいて、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上。
	I C T 教育の推進	各科目の授業における各学期ごとの I C T 機器の活用率100%。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	未来の夢と進路目標の設定	3 学期末における生徒の進路目標が「未定」である生徒の割合を、1 年生で10%以下、2 年生で 5 %以下。
	教員を目指す生徒の実習への参加	教育アビシヤスコースの小学校実習の生徒満足度85%以上。
	オープンキャンパスやインターンシップへの参加	夏期休業中の進路課題としてオープンキャンパスやインターンシップへの参加を促し、報告書で肯定的に回答する生徒の割合を85%以上。
	キャリア教育に向けた啓発活動の促進	生徒（進路委員）が作成する、進路ニュースレター『進路のすゝめ』を年 3 回発行。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	生徒会や部活動等による、地元の小・中学校、公共機関や N P O 法人等との連携	地元公共団体等から依頼される社会貢献活動等に積極的に参加するとともに、生徒が主体的に企画・運営する各連携事業や行事を年間 8 回以上計画。
	コミュニティスクールの運営の充実	年間 3 回の学校運営協議会の開催。
	郷土理解を深める学習への取組	「総合的な探究の時間」および「奈良 TIME」の取組をとおして、生徒の地域理解や郷土愛が深まったという回答率80%以上。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	生徒による人権意識啓発の取組	生徒が作成する人権啓発『ニュースレター』を年間 6 回発行。
	生徒の人権意識高揚に向けた取組	年度末アンケートで「社会の様々な差別について、それをなくす言動を積極的にしていこうと思う。」と回答する生徒の割合を85%以上。
	いじめのない学校づくり	いじめアンケートで「いじめられている」の回答に対する解消率85%以上。